

センター行事メモ (H29年4月～)

独立行政法人評価

原子力機構の業務実績は、国の独立行政法人評価委員会（総会）で評価が行われ、当センターで実施している項目「原子力の基礎基盤研究と人材育成」の平成28年度評価は、以下の結果となりました。基礎基盤研究及び先端原子力科学研究の推進については、科学的意義を有し、社会的ニーズへの科学的貢献が特に顕著な研究成果を数多く上げている点が評価されました。（https://www.jaea.go.jp/about_JAEA/business_plan/result-28.pdf）

項目：原子力の基礎基盤研究と人材育成 評価：S、A

卓越研究員制度

今年度、原子力機構において初めて卓越研究員制度が採用され、その筆頭に先端基礎研究センターが選ばれました。8名の応募に対し4名が卓越研究員として採用されました。本制度は、新たな研究領域に挑戦する若手研究者が、安定かつ自立して研究を推進できる環境を実現するために、平成28年度から文部科学省によって実施されている新制度です。

黎明研究

先端基礎研究センターは国際的に開かれた研究環境の構築に取り組んでいます。この一環として、原子力に関する斬新なアイデアを機構外から公募する「黎明研究制度」を実施しています。黎明研究制度では、国際的視野での新たな研究テーマの発掘を目的として、国内外から研究課題の公募を行っています。黎明研究評価委員の審査を経て、平成28年度には6件を、平成29年度には28年度からの継続課題3件を含む計7件を採択しました。これらの研究課題は原子力機構との共同研究として実施されています。

平成29年度採択課題

研究課題名	研究代表者	所属
MuSR, neutron scattering, materials development and theories of Novel Diluted Ferromagnetic Semiconductors (DMS) and Mott Transition Systems	Yasutomo Uemura	Columbia University
Exploration of the new island of asymmetric fission	Igor Tsekhanovich	Bordeaux University
Spintronic devices using thin films of heavy metals: understanding the role of strong spin-orbit coupling and proximity-induced magnetism	Christopher Bell	University of Bristol
Collaborative Studies of Baryon Spectroscopy at J-PARC between Theory and Experiment	Kenneth Hicks	Ohio University
Spin-orbit and spin-lattice dynamics in magnetic nanostructures	Timothy Ziman	Institut Laue-Langevin
ラジウムの環境地球化学：野外調査とイオンの系統性からのアプローチ	高橋 嘉夫	東京大学
Gas-phase chemistry of Sg(CO) ₆ -Optimizing the synthesis and preparing nuclear structure studies	Christoph E. Düllmann	University of Mainz

※詳細は、HP からもご覧になれます。
<http://asrc.jaea.go.jp/result/press.html>

プレス発表

発表日	タイトル	担当者	担当グループ
平成 29 年 8 月 10 日	99 番元素アインスタイニウムを用いた研究の開始について - 日米の協力で実現する世界初の実験 -	西尾 勝久	重元素核科学研究グループ
平成 29 年 8 月 18 日	音波を用いて銅から磁気の流れを生み出すことに成功 - 磁石や貴金属を必要としない磁気デバイス開発へ -	松尾 衛 前川 禎通	スピン-エネルギー変換材料科学研究グループ
平成 29 年 9 月 23 日	走査トンネル顕微鏡による電子軌道秩序の直接観察 - 物質表面に現れる新たな秩序の発見 -	芳賀 芳範	重元素材料物性研究グループ
平成 29 年 11 月 28 日	核分裂における原子核のさまざまな“ちぎれ方”を捉える - 放射性物質の毒性低減に貢献 -	廣瀬 健太郎	重元素核科学研究グループ
平成 30 年 1 月 9 日	極小世界のビリヤード実験 - 編極陽子と原子核の衝突反応で大きな左右非対称性を発見 -	谷田 聖	ハドロン原子核物理研究グループ
平成 30 年 1 月 10 日	スピン流の雑音から情報を引き出す - スピン流高効率制御に向けた新手法 -	前川 禎通 大沼 悠一	スピン-エネルギー変換材料科学研究グループ
平成 29 年 1 月 11 日	磁場に負けない超伝導 - ウラン化合物で現れる、磁場に応答しない新しい電子状態を明らかに -	服部 泰祐	重元素材料物性研究グループ
平成 30 年 2 月 9 日	物質の内部に隠れたトポロジーの直接観測に成功 - 「物質のトポロジー」は見かけより中身が大事 -	芳賀 芳範	重元素材料科学研究グループ

国際ワークショップ等

開催日	タイトル	場所
平成29年 6月21日	黎明ミニワークショップ 「Development of experimental methods and theoretical predictions for baryon excited states and dense baryonic matter studied at J-PARC」	KEK 東海1号館
平成29年 7月18日	黎明ワークショップ 「Thin films of Uranium compounds: basic research and application」	日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所
平成29年 10月9日	黎明ワークショップ 「REIMEI CO-collaboration Meeting」	スイス、アスコナ
平成29年 11月7日～8日	黎明ワークショップ 「アインスタイニウムワークショップ」	日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所
平成29年 12月11日～14日	黎明ワークショップ 「Hadronic Resonances Dense Nuclear Matter - 42nd Reimei Research & J-PARC-HI Collaboration Meeting -」	IQBRC、J-PARC センター
平成30年 1月10日～14日	黎明ワークショップ 「New Excitations in Spintronics」	東北大学金属材料研究所